

2024年5月29日
東日本旅客鉄道株式会社
盛岡支社

盛岡支社管内において駅舎の利活用を進めています！

JR東日本盛岡支社では、これまで駅舎の利活用を進めてまいりましたが、今回新たに種市駅(八戸線)と六原駅(東北本線)の利活用方針が決まりましたので、お知らせいたします。

なお、今後も駅がこれまで以上に地域の拠点としてのポテンシャルを発揮できるよう、自治体や地域の事業者の皆さまとともに地域社会のニーズに合わせた駅舎の利活用を推進していきます。

1. 今後の利活用について

(1) 種市駅

既に2024年5月より、駅舎の利活用に向けた準備工事を当社で進めておりましたが、2024年6月より、洋野町へ駅舎全体を貸し付け、2024年11月の種市駅開業100周年に向けて洋野町がリノベーションを行います。

○工事期間

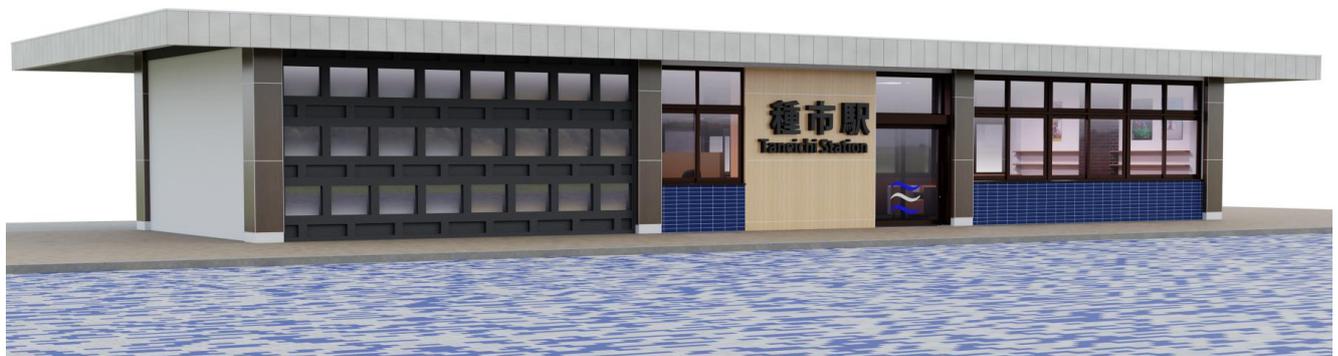
2024年5月～2024年10月(予定)

○工事内容

待合室リニューアル、事務所スペース整備、建具改修、外壁塗装 等

○駅舎の活用方法について

観光地域づくりの活動拠点として活用予定



(完成イメージ)

【参考：種市駅諸元】

1. 所在地：岩手県九戸郡洋野町種市第23地割70
2. 開業年月日：大正13年11月10日
3. 構造：鉄筋コンクリート造平屋建て 152.5 m² (床面積)
4. 1日の乗車人員：89人 (2021年度)

(2) 六原駅

既に2024年4月より、駅舎の利活用に向けた準備工事を当社で進めておりましたが、準備が整い次第、地域の事業者へ旧駅事務室部分を貸し付け、事業者による内装工事完了後の2024年秋頃に店舗が開業する予定です。

○工事期間

2024年4月～2024年10月 (予定)

○工事内容

待合室美化、屋根防水、店舗スペース整備 等

○駅舎の活用方法について

物販・軽飲食を主体とする店舗として活用予定



(完成イメージ)

【参考：六原駅諸元】

1. 所在地：岩手県胆沢郡金ヶ崎町大字三ヶ尻丹蔵堰11
2. 開業年月日：昭和12年2月1日
3. 構造：鉄筋コンクリート造平屋建て 271.7 m² (駅舎全体の床面積)
4. 1日の乗車人員：233人 (2017年度)

2. これまでの利活用事例

(1) 上米内駅（山田線）

2020年4月29日に一般社団法人次世代漆協会と連携し、「ウルシをテーマにした賑わう拠点」として、リニューアルを実施。漆職人による工房室での漆器製作、飲料の提供、展示スペースの管理体験やイベントによるウルシの魅力発信、駅舎内及び駅前広場の清掃等を行っている。



(2) 荒屋新町駅（花輪線）

八幡平市や地元企業経営者とのワーキングで活用方法を検討し、駅事務室をJR社員と地域の方々によるDIYにて改装。2023年10月29日には、荒屋新町駅前で開催される地域交流イベント「あしろマルシェ」に合わせて、事務室にかつての駅周辺写真やJR花輪線沿線の写真、荒屋新町駅に関する物品等の展示会を実施。



(3) 小岩井駅（田沢湖線）

築100年を超える駅舎を開業当時の外観に復元しつつリニューアル工事を実施。2023年12月に工事が完成し、その後滝沢市へ譲渡。旧駅事務室を多目的スペースとし、通学で列車を利用する子どもたちの待機場所や自治会のイベント会場等として活用している。



(4) 陸奥横浜駅（大湊線）

横浜町から既存駅舎活用の要望を受け、当社で外壁等の改良工事を行ったうえで、2023年12月25日に駅舎を横浜町に譲渡。横浜町で実施していた内装等のリニューアル工事が完了したことから、2024年3月31日に「陸奥横浜駅舎リニューアル式典」を開催。

